

## はじめに

研究代表者 三好正満

平成7年1月17日未明に起こったM7.2の直下型阪神・淡路大震災は、6000を越える人命を奪い、20万戸を越す住戸を破壊し、65万 $\text{m}^2$ を超える地域を火災の海とした。この地震は、我国では関東大震災以来最大級のものであり、道路、鉄道、港湾、建物などの物理的な側面のみならず、人間の心という心理的な側面にまで大きな打撃を与えたと言ってよいであろう。いわば人間活動の全ての面に破壊の斧をふるい、人々は非日常的な生活を余儀なくされた。考えてみると、我々の生活はこのような震災を想定しては組み立てられていなかった。それ故、根底から破壊された生活の中でもがき苦しみ、そこから立ち直るのに多くの苦難をくぐり抜けねばならなかったし、震災後4年を経過した今もなおその傷は癒えていない。

しかし、その間、我々は、多くのことを学んだことも事実である。最も根本的な教訓は「自然への畏敬であり、自然との共生の大切さであり、そして、人間の繋がり大切さ」であったと言えよう。このような教訓を基本的な理念として、我々家政学に携わる者は、災害時における非日常的な生活のあり方と災害に強い日常的な生活の構築のしかたという2つの大きな課題を背負っている。阪神・淡路大震災の経験に鑑みて、震災が生活全体にどのような影響を及ぼし、再建の過程でどのような問題があったのか、また、どのような生活像を描いてこれからの生活を築かねばならないかを明らかにしなければならない。それは、生活個々の側面だけでなく正に全体として総合化されねばならない。阪神・淡路大震災に関連する研究は、土木や建築などのハード面、教育や心理などのソフト面で盛んであるが、いわば、両者の中間領域ともいべき生活の面でも体系的な研究が必要である。非日常的な震災の経験から日常的な生活のあり方を考察することによって、家政学のあり方にも新しい示唆が得られるものと期待される。人間と環境との相互作用として家政学を捉え発展させてきた我々個々の研究者の総力を結集し、協力してこのような課題に総合的に取り組む必要がある。このような背景と目的をもって我々は次のような研究組織を組織し、文部省科学研究費基盤研究B(1)の助成(平成9年度450万円、10年度290万円)を得て、平成9年から10年度にかけて「阪神・淡路大震災における生活の復興と防災のあり方に関する総合的研究」を行い、その成果をこの報告書にまとめた。

神戸大学人社系図



00099034256

## 研究組織

氏名 (所属・職)	担当課題
(研究代表者)	
三好正満 (奈良女子大生活環境学部・教授)	: 研究の総括と食問題の資料整理
(研究分担者)	
丸谷宣子 (神戸大発達科学部・教授)	: 地域の食料問題と対応システム
丹羽雅子 (奈良女子大学生生活環境学部・教授)	: 災害時の衣生活行動等
安田 武 (武庫川女子大・名誉教授)	: 同上
田村照子 (文化女子大家政学部・教授)	: 災害時の救援衣料
中川早苗 (奈良女子大生活環境学部・教授)	: 震災による衣生活の変化
今井範子 (奈良女子大生活環境学部・教授)	: 防災を考慮した住生活のあり方
関川千尋 (京都教育大教育学部・教授)	: 復興における住居費等
西村一朗 (奈良女子大生活環境学部・教授)	: 復興と居住地共用空間のあり方
町田玲子 (京都府立大人間環境学部・教授)	: 意思伝達困難層の住管理のあり方
宮野道雄 (大阪市立大生活科学部・教授)	: 住宅被害と人的被害の関係等
長嶋俊介 (奈良女子大生活環境学部・教授)	: 生活相互扶助システムの点検等
野田 隆 (奈良女子大人間文化研究科・助教授)	: 防災情報システムのあり方
朴木佳諸留 (神戸大発達科学部・教授)	: 生活再建へ向けてのマンパワー等
松村祥子 (放送大教養学部・教授)	: 福祉面からみた生活再建
菊沢康子 (兵庫教育大学校教育学部・教授)	: 防災からみた学校教育
(研究協力者)	

吉田恭子、山口順子、井尻登喜子、山本泉

なお、丹羽雅子教授は、奈良女子大学学長に就任のため研究を開始する前に研究分担を辞任した。また、菊沢康子教授は、平成9年7月に不慮の事故のため他界され、朴木佳諸留教授が菊沢教授の課題を引き継いだ。

## 研究経費

平成 9年度	4 5 0 0	千円
平成10年度	2 9 0 0	千円
合計	7 4 0 0	千円

## 研究発表

### (1) 学会誌等

1. 今井範子、中村久美、多田稲子 「地震防災を考慮した住生活の実態とその意識に関する研究 第1-第3報」 家政学研究 43巻 60-80 1997
2. 今井範子、中村久美、多田稲子 「地震防災を考慮した住生活の実態とその意識に関する研究-被災地域における公団住宅居住者の場合-その1. 震災被害による住生活に関わる諸意識野動きと非常時に対応した住み方」 平成9年度日本建築学会近畿支部研究報告集 第37号計画系 165-168 1997
3. 中村久美、今井範子、多田稲子 「地震防災を考慮した住生活の実態とその意識に関する研究-被災地域における公団住宅居住者の場合-その2. 被災経験による非常時のためのモノの備えの動きとそのあり方に対する意識」 平成9年度日本建築学会近畿支部研究報告集 第37号計画系 169-172 1997
4. 多田稲子、今井範子、中村久美 「地震防災を考慮した住生活の実態とその意識に関する研究-被災地域における公団住宅居住者の場合-その3. 非常時に備えた人間関係と組織のあり方」 平成9年度日本建築学会近畿支部研究報告集 第37号計画系 173-176 1997
5. 今井範子、中村久美 「阪神・淡路大震災の公団住宅における住生活上の諸課題(第1報)被災当時における生活困難の実態と支援の状況」 日本家政学会誌 49巻 6号 687-698 1998
6. 中村久美、今井範子 「阪神・淡路大震災の公団住宅における住生活上の諸課題(第2報)住生活に関わる諸意識と変化と住み方」 日本家政学会誌 49巻 6号 699-708 1998
7. 今井範子、中村久美 「阪神・淡路大震災の公団住宅における住生活上の諸課題(第3報)モノの備えの状況とそのあり方」 日本家政学会誌 49巻 11号 1223-1232 1998
8. 高井伸雄、岡田成幸、宮野道雄、岡崎信弘、鈴木有 「1995年兵庫県南部地震における淡路島北淡町の建物被害写真調査 その1. 建物被害にみる特徴」 地域安全学会論文報告集 7号 250-253 1997
9. 岡田成幸、高井伸雄、宮野道雄、岡崎信弘、鈴木有 「1995年兵庫県南部地震における淡路島北淡町の建物被害写真調査 その2. 人的被害にみる特徴」 地域安全学会論文報告集 7号 254-257 1997
10. 関川千尋 「阪神・淡路大震災罹災家庭の住生活と「住居費」に関する研究-持家一戸建住居居住世帯の場合-」 日本家政学会関西支部第29回研究発表会 1998
11. 関川千尋 「阪神・淡路大震災罹災家庭の住生活と「住居費」に関する研究-震災復興公営住宅居住世帯の場合-」 日本建築学会大会講演梗概集 1057-1058 1998
12. 趙萍、町田玲子 「中国帰国者の住生活に関する研究-阪神・淡路大震災の被災地の居住者の場合:京都在住者と比較して-」 日本家政学会誌 49巻 7号 811-820 1998

- 1 3. 三好正満 「生活危機管理－震災に学ぶ危機対応－食生活の面から」日本人の生活  
日本家政学会編 健帛社 194-198 1998
- 1 4. 安田武 「生活危機管理－震災に学ぶ危機対応－衣生活の面から」日本人の生活  
日本家政学会編 健帛社 199-203 1998
- 1 5. 西村一朗 「生活危機管理－震災に学ぶ危機対応－住生活の面から」日本人の生活  
日本家政学会編 健帛社 204-208 1998
- 1 6. 朴木佳緒留 「生活危機管理－震災に学ぶ危機対応－家庭経営の面から」日本人の  
生活 日本家政学会編 健帛社 209-213 1998
- 1 7. 永藤清子、井上えり子、水島かな江、佐々木和子、清瀬尚子、朴木佳緒留 「阪神  
・淡路大震災にみるジェンダー問題－家族・労働・家事分担について」 日本家政  
会誌 49巻 173-186 1998
- 1 8. Kuramoto, A., Sasaki, K., Hounoki, K. 「Gender Issues and the Hanshin-Awaji  
Great Earthquake in 1995, Japan」 J. ARAHE 5(1) 28-37 1998
- 1 9. 小田利勝、朴木佳緒留、松岡廣路 「ケア付き仮設住宅の機能と入居者への生活支  
援」 大阪ガスグループ福祉研究・調査報告書 11 7-13 1998
- 2 0. 丸谷宣子 「災害直後の公衆栄養問題に対する地域内自衛システムの検討」 日本  
公衆衛生雑誌 45 99-103 1998
- 2 1. 長嶋俊介 「淡路島復興状況」 会計監査資料 377 50-54 1997
- 2 2. 長嶋俊介 「阪神淡路大震災における相互扶助システム」 国際協力論文集 5  
3号 1-19 1998
- 2 3. 田村照子 「災害に強い生活の確立に向けて」 学術の動向 1999 (予定)

## (2) 口頭発表

1. 三好正満ほか本研究グループ 「震災研究から考える家政学における新しい視点」  
(社)日本家政学会大51回大会シンポジウム 名城大学 5・29・1999 (予定)

## (3) 出版物

1. 日本家政学会阪神・淡路大震災調査研究特別委員会 「日本家政学会阪神・淡路大  
震災調査研究特別委員会報告書」 同委員会 1998